

令和6年度 指定管理者評価結果票

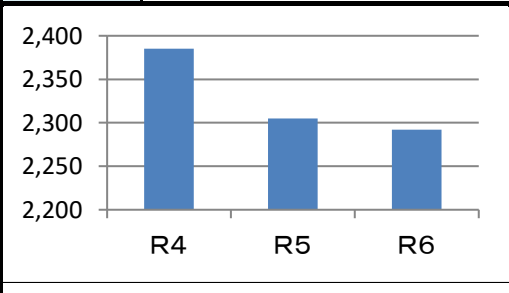
| | |
|--------|------------------|
| 所 管 課 | 健康福祉部 障害福祉課 |
| 評価対象期間 | R6.4.1 ~ R7.3.31 |

1 基本情報

| | | |
|-----------|-------|--|
| 施設概要 | 名 称 | 岐阜県立はなの木苑 |
| | 所 在 地 | 土岐市泉町久尻字滝ヶ洞1512-2 |
| 指定管理者 | 名 称 | 社会福祉法人岐阜県福祉事業団 |
| | 構 成 員 | — |
| | 所 在 地 | 岐阜市下奈良2丁目2番1号 |
| | 指定期間 | R3.4.1 ~ R8.3.31 |
| 指定管理業務の内容 | | ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。 |

2 利用状況を把握するための指標

| 指標 | 利用者数 (単位:人) |
|----|----------------|
| R4 | 2,385 |
| R5 | 2,305 |
| R6 | 2,292 |



| | |
|----|-------|
| R4 | 2,385 |
| R5 | 2,305 |
| R6 | 2,292 |

3 令和6年度の収支状況

(単位:千円)

| | |
|---------|---------|
| 収 入 計 | 457,480 |
| 利 用 料 金 | 454,459 |
| 指定管理料 | 0 |
| そ の 他 | 3,021 |
| 支 出 計 | 369,282 |
| 人 件 費 | 278,052 |
| 施設管理費 | 22,831 |
| そ の 他 | 68,399 |
| 差 引 | 88,198 |
| 納 付 金 | — |

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

| 前年度の評価員会議の主な意見 | 対応状況 |
|---|--|
| ・利用者の男女比のあり方について検討してほしい。 | ・施設内のレイアウトを見直し、地域ニーズの高い男性入所者に対応してきた。建物の構造上、男性居室を増設できないため、一部の女性フロアを男性フロア化する構想も視野に入れて検討していく。 |
| ・事件・事故の件数がやや多い印象がある。ヒヤリハット等を再検討して、日常の早期発見に努めてほしい。 | ・毎月リスクマネジメント委員会を開催し、事故等の検証を行い、行動表の見直しを行った。また、身体的機能低下や精神的な変化について状況を把握し、医師と相談共有のうえ対応状況を検討している。 |

5 評価員会議による評価結果

| 評価項目 | 評価点 (平均点) | 評価員の主な意見 |
|-----------|--------------|---|
| 管理基準の充足状況 | 2.0 | ・虐待事案への対応に努めること。 ・虐待事案から現場管理体制の在り方が問われる状況であった。 ・これだけ多くの虐待がありながら、「苦情・相談・意見はなかった」ということ、第三者評価の結果が良好だったことは、それらは形だけで実際は機能していないのでは。 |
| 設置目的の充足状況 | 2.8 | ・虐待事案への対応に努めること。 ・今回の虐待事案で施設のイメージ低下は避けられないだろう。職員一丸となって名誉挽回に努めていただきたい。 |
| 公共性の確保の状況 | 2.0 | ・虐待事案への対応に努めること。 ・虐待事案の概要から心理的な安心・安全を欠く環境であった。利用者の方にとっての危機に対する対策は不十分であると言わざるを得ない。 ・よい支援をする職員をきちんと評価し育てていく仕組みをつくる必要があるのではないか。 |
| 経営状況 | 3.0 | ・人員配置体制加算Ⅱが取得できた。 ・物価上昇への対応に努めること。 |
| 派生的効果 | 2.8 | ・地域との交流をさらに進めること。 ・できるだけ多くのボランティアや地域の方、実習生に施設の中へ入ってもらい、施設の中の風通しをよくしていただきたい。 |

<評価基準>

| | |
|---|--|
| 5 | 協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている |
| 4 | 協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている |
| 3 | 協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている |
| 2 | 協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する |
| 1 | 改善を要する |

6 県による評価結果

| 最終評価 | 評価の考え方 |
|------|--|
| C | ・虐待事案が発生しており、現場管理体制の在り方が問われる状況であった。 ・利用者にとって心理的な安心・安全を欠く環境であった。 ・虐待事案の検証を行う第三者委員会による報告に基づき、改善を要する。 |

<評価基準>

| | |
|---|---------------------------------|
| S | 優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている |
| A | 優れた管理運営がなされている |
| B | 適正な管理運営がなされている |
| C | 改善を要する |